

## 横浜市内におけるクビアカツヤカミキリの可能性が高い幼虫及びフラスの確認について

令和8年6月30日（火）に特定外来生物※1であるクビアカツヤカミキリの可能性が高い幼虫及びフラス（木くず）※2が、横浜市内で初めて確認されました。

クビアカツヤカミキリは、人体に直接危害を加えることはありませんが、幼虫によるサクラやウメ等の樹木への食害の恐れがあります。

**確認場所周辺においては、調査及び初期防除を実施しています。**

※1 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく、外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがある生物

※2 幼虫が生息する樹木の幹や根元に堆積する糞と木くずの混合物

## 1 経緯

- 6/30 市民の方から「クビアカツヤカミキリと思われる個体を見つけた」と市に通報。  
市が現地のサクラの木で幼虫及びフラスを確認。  
7/1～ 確認場所周辺における調査を実施。

## 2 発見場所

青葉区内公園

## 3 確認された個体について

現在確認されている個体は、幼虫2個体です。

## 4 今後の対応

確認場所周辺の公園などの市管理敷地において、調査及び初期防除を進めていきます。

## 5 クビアカツヤカミキリについて

- クビアカツヤカミキリの成虫や幼虫等を発見した場合には、駆除にご協力をお願いします。また、みどり環境局環境活動事業課（電話：671-3448）までご連絡をお願いします。
- 本種は特定外来生物に指定されていますので、生きたまま移動をさせたり、飼育することは法律で禁止されています。違反した場合には罰則が設けられています。
- クビアカツヤカミキリの特徴は、体長が2～4cmで全体は青みを帯びた黒色、つやつやとした光沢があり、前胸部の背中側が赤くなっています。
- 幼虫が生息する樹木の幹や根元には「フラス」と呼ばれる糞と木くずの混合物が見られます。
- クビアカツヤカミキリは人体に直接危害を加えることはありませんが、サクラやウメ等の樹木に産卵し、幼虫による樹木への食害があるため、樹木内部の被害が大きい場合には枯れてしまう恐れがあります。

裏面あり

【参考写真】クビアカツヤカミキリ成虫・幼虫・フラス（写真はイメージです）



クビアカツヤカミキリオス成虫



クビアカツヤカミキリ幼虫



クビアカツヤカミキリのフラス



クビアカツヤカミキリ被害・フラス

提供：埼玉県環境科学国際センター

お問い合わせ先			
(クビアカツヤカミキリに関すること)	環境活動事業課長	森山	Tel 045-671-3830
(公園における対応に関すること)	公園緑地維持課長	田畑	Tel 045-671-3431